南　風

田富南小校長通信
No.７　７月７日（金）

南小写真館

７月になりました。１学期も実質あと２週間ほど。夏休みがすぐそこに来ています。４月から走り続けてきましたが，ここでちょっとひと休み。実りの秋を迎える前に，エネルギーの充電！ということになるのでしょう。

① ミニコンサート

以前にもお知らせしましたが，「ミニコンサート夏2023」を６月１３日・１６日・２０日の３日の中休みに行いました。各学年各グループが歌やダンス，楽器演奏（がっきえんそう）などを披露（ひろう）していました。短い時間でしたが，たくさんの笑顔が見られ楽しそうでした。（３学期にも行う予定です。）

② 読書週間

６月１９日～２３日で「読書週間（どくしょしゅうかん）」として，本の読み聞かせを行いました。毎年のことなのですが，ボランティアの保護者や先生方が各学年各学級へ出向いて本の読み聞かせを行いました。また，６月２０日（火）には，たて割り班での読み聞かせを行い，各班のリーダーの６年生が，同じ班の児童への読み

聞かせを行いました。子どもたちは，一所懸命に聞いていました。本を読むということが最近では減ってきたと言われています。しかし，理解力や表現力などは将来大人になっていくためには大切な能力ですし，読書はこれらの力を身につけるためには非常に効果的です。たくさんの本を読んでほしいと思います。

子ども自転車大会

7月1日（土）に交通安全センターで「第52回交通安全子供自転車山梨県大会」が行われました。例年，南甲府警察署管内の小学校の代表として，南小が参加しています。今年度も6年生の1チームが参加。見事第5位に入賞し，賞状と盾をいただきました。子どもたちは約3週間前から南甲府警察署の方々から交通ルールなどの学習と自転車実技の指導を受けての本番でした。前日までは，降雨が予想されたため，実技ができるかどうかが心配だったのですが，一部変更しながらも無事に行われました。よく頑張りました。おめでとうございます。これからも自転車に乗ることが多くあります。実技で教えていただいたことや交通ルールなどをしっかりと守って，事故に遭わない・事故を起こさないことで楽しく乗ることができるようにしていきたいですね。

耳から育つということ

かれこれ 10 年以上も前のことですが，新聞に掲載されていた連載記事について，何かの研修の際に思い出すことがありました。ある女性が小学生のころから両親や近所の人たち，学校の先生たちからちょっとしたことに自分にかけられた言葉で，自分が大切にされていると感じたことが今の自分を形作っているのだというような内容だったともいます。何かしら否定的な内容よりも「大切にしてもらった記憶」が多くなればなるほど，自己有用感・自己肯定感は高まっていくのだと思います。現在成長期である今の南小の児童も同じように，たとえ小さなことでも「褒められる」ことで嬉しくなることもあるのではないでしょうか？成長していく中で出来なかったことが出来るようになったり，逆にたとえ上手くいかなくても，それを否定するのではなく，やろうとしたことを認めてあげることなど，ほんのちょっとしたことでも褒められれば，自分は大切にされているという想いにつながりますし，大切にしてもらったのだと思えるようになります。 以前にある僧侶の話しで覚えていることが「人は耳で育つ」ということです。優しい言葉で育った子どもは優しくなる。汚い言葉で育った子どもは心も汚れるのだそうです。また，そこから同じ事（内容）について話すにしても，普通に話をするのと暴言のような荒い言葉で話すのでは，受け取り方にも大きな違いが出てしまうのだということでした。特に，発達段階の小学校ではなおさらかもしれません。振り返ってみれば，今までどうしてもイライラして言葉を荒げて話してしまうことがあったし，委縮してしまい何も上手くいかったなあと思い出します。